

北九州市
若者の自立支援や結婚への意識等に関する
市民アンケート
【18歳以上40歳未満用】

※このアンケートは、「北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート」の一環として実施するものです。

アンケート調査へのご協力をお願い

北九州市では、市民の皆様のご理解とご協力を得ながら、本市における子ども・若者の健全育成や子育て支援の基本的方向及び具体的な取り組みを定めた計画である「元気発進！子どもプラン」〔北九州市次世代育成行動計画〕（計画期間：平成22～26年度）に基づきさまざまな施策を進めています。

この度、来年度で計画期間の終了する「元気発進！子どもプラン」を見直し、次期計画（計画期間：平成27～31年）を策定することとなりました。

次期計画を策定するにあたり、総合的に若者の健全育成や自立支援に取り組み、計画をより実効性のあるものにするため、若者の生活状況や就労のこと、結婚や出産・子育て等に関する意識などを把握することを目的としたアンケート調査を実施します。

皆様には、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、このアンケート調査は、平成25年9月20日現在の住民基本台帳から、平成25年4月1日時点で、18歳から39歳の方を無作為に3,000人抽出し、ご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた内容は、本市や国などの子ども・若者の健全育成等のための施策の検討にのみ利用するものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

調査票のご記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れて、平成25年10月31日までに投函くださいますようお願いいたします。

いただいた回答は地域の若者支援の充実に生かされます。

アンケートへのご協力をお願いします。

ご記入にあたってのお願い

- 1 アンケートは、あて名のご本人様がご記入下さい。
- 2 設問によってご回答いただく方が限られていたり、お選びいただく数が異なったりしますので、ことわり書きに従ってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 3 ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、平成25年10月31日までにご投函ください。

本調査に関することや、ご不明な点についてのお問合せは、下記までお願いいたします。

《お問い合わせ先》

北九州市 子ども家庭局 子ども家庭政策課

北九州市小倉北区城内1番1号

電 話 093-582-2550

FAX 093-582-0070

＜北九州市＞ 子ども・子育て支援に関する市民アンケート （18歳以上40歳未満用）

1. あなた自身のことについておうかがいします。

問1 あなたの性別として、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢を、枠内にご記入ください。

歳 （平成25年4月1日現在）

問3 あなたのお住まいの区として、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 門司区 2. 小倉北区 3. 小倉南区 4. 若松区
5. 八幡東区 6. 八幡西区 7. 戸畑区

問4 あなたの最終学歴について、あてはまるもの1つに○をつけてください（在学中の方は、現在の学校を卒業するものとしてお答えください）。

1. 中学校卒 2. 高等学校卒 3. 短期大学・高等専門学校卒
4. 専門学校・各種学校卒 5. 大学卒 6. 大学院卒
7. その他（ ）

2. あなたの生活状況についておうかがいします。

問5 あなたは現在、だれと同居していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. だれとも同居していない（ひとり暮らし） 2. 配偶者
3. 子ども 4. 親
5. 祖父母 6. その他（ ）

問6 あなたが生活するうえで、主に生活費（住居費や食料費など）を担っているのは、だれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 自分 2. 配偶者 3. 子ども
4. 親 5. 祖父母 6. その他（ ）

問7 あなたの近所付き合いの状況について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. まったく付き合いがない
2. 会った時にあいさつ程度の付き合いがある
3. 何かあれば相談できる程度の付き合いがある
4. 何かにつけて、相談したり助け合ったりしている

問 8 あなたは、ふだんどのくらい外出していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 仕事（家事を含む）や学校で平日は毎日外出する |
| 2. 仕事（家事を含む）や学校で週に3～4日外出する |
| 3. 遊び等で頻繁に外出する |
| 4. 人付き合いのためにときどき外出する（例：法事や結婚式など） |
| 5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する |
| 6. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける |
| 7. 自室からは出るが、家からは出ない |
| 8. 自室からほとんど出ない |

問 8-1 問8で、「5」から「8」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。問8の状況となってどのくらいたちますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 1. 6か月未満 | 2. 6か月～1年未満 | 3. 1年～3年未満 |
| 4. 3年～5年未満 | 5. 5年～7年未満 | 6. 7年以上 |

問 8-2 問8で、「5」から「8」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。問8の状況になったきっかけは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| 1. 不登校（小学校・中学校・高校） | 2. 高校中退 |
| 3. 大学不適応 | 4. 受験失敗（高校・大学） |
| 5. 就職活動不調 | 6. 職場不適応 |
| 7. 人間関係の不信〔友人・父・母・兄弟姉妹・その他の人（ ）〕 | |
| 8. 病気（病名： ） | 9. その他（ ） |

問 9 次にあげられたことについて、あなたの気持ちにもっともあてはまるものを、1～4の中から1つ選んで○をつけてください。

	はい	どちらかといえばはい	どちらかといえばいいえ	いいえ
家や自室に閉じこもり外に出ない人たちの気持ちがわかる	1	2	3	4
自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある	1	2	3	4
嫌な出来事があると、外に出たくない	1	2	3	4
理由があるなら、家や自室に閉じこもるのも仕方ないと思う	1	2	3	4

問10 次にあげられた親に関する意見の中で、あなたの気持ちにもっともあてはまるものを、1～4の中から1つ選んで○をつけてください。

【この設問については、親、若しくは保護者と同居していない方は回答不要です。次の問いへ進んでください】

	はい	どちらかといえばはい	どちらかといえばいいえ	いいえ
できるだけ長く親と一緒に住みたいと思う	1	2	3	4
親の老後等が心配なので、一緒に住みたいと思う	1	2	3	4
親元にいる方が家事をしなくてすむので楽だ	1	2	3	4
親元にいる方が、経済的に安心である	1	2	3	4

問11-5 1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。※現在働いていない方は、記入しなくて結構です。（在宅勤務や内職の方は開始と終了の時間をご記入ください）

1日の就労時間	□ □	時間		
家を出る時刻	□ □	時	□ □	分頃
帰宅時刻	□ □	時	□ □	分頃

問12 あなたの年収について、□内に具体的な数字でお答えください（数字は一桁に一字。収入がなかった場合は、「0」万円とご記入ください）。なお、配偶者がいる場合は、配偶者の年収もお答えください。

【あなたの年収】

昨年1年間で □ □ □ □ 万円くらい

【配偶者の年収】

昨年1年間で □ □ □ □ 万円くらい

問13 あなたの生活の中で、仕事と、仕事以外の生活（家事・育児、趣味やボランティア活動など）の優先度についておうかがいします。希望の優先度と、現実での優先度について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

【希望の優先度】

1. 仕事を優先
2. どちらかといえば仕事を優先
3. 仕事と、仕事以外の生活を同じくらい優先
4. どちらかといえば仕事以外の生活を優先
5. 仕事以外の生活を優先

【現実での優先度】

1. 仕事を優先
2. どちらかといえば仕事を優先
3. 仕事と、仕事以外の生活を同じくらい優先
4. どちらかといえば仕事以外の生活を優先
5. 仕事以外の生活を優先

問14 問11で、「1」に○をつけた方にうかがいます。子どもができた（増えた）場合、現在の仕事を続けたいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------|-----------------|
| 1. 続けたい | 2. できるだけ続けたい |
| 3. やめたい | 4. わからない（該当しない） |

問17-3

問17で、「2」または「3」に○をつけた方にうかがいます。独身でいる理由として考えられる次の項目について、あなたはどのようにお考えですか。それぞれの項目について、あなたの気持ちにもっともあてはまるものを、1～4の中から1つ選んで○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
結婚するには若すぎる	1	2	3	4
結婚する必要性を感じない	1	2	3	4
仕事（または学業）にうちこみたい	1	2	3	4
趣味や娯楽を楽しみたい	1	2	3	4
独身の自由や気楽さを失いたくない	1	2	3	4
時間やお金を自由に使いたい	1	2	3	4
結婚すると生活レベルが下がる	1	2	3	4
適当な相手にまだめぐり会わない	1	2	3	4
異性と出会う場や、交際する機会がない	1	2	3	4
異性とうまくつきあえない	1	2	3	4
雇用形態（非正規雇用など）が安定してない	1	2	3	4
収入や住居など結婚生活のための経済的基盤のめどがたたないから	1	2	3	4
結婚資金（挙式や新生活の準備のための費用）が足りないから	1	2	3	4
親や周囲が結婚に同意しない	1	2	3	4
家事をするのが大変だ	1	2	3	4
子育てするのが大変だ	1	2	3	4
他人と家庭を築くのが面倒だ	1	2	3	4
相手の家族・親族との付き合いが面倒だ	1	2	3	4
相手の親の世話・介護が大変だ	1	2	3	4
自分の親の世話・介護が心配だ	1	2	3	4
なんとなく独身でいる	1	2	3	4

問18

少子化社会対策として、独身の人が結婚する機会に恵まれるよう国や市が何らかの支援をすべきだという意見があります。あなたはこのような意見についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものに1つ○をつけてください。

1. 結婚は個人の問題であり、国や市の支援にはそぐわない
2. 国や市が結婚の支援をしてもあまり効果があるとは思えない
3. 結婚は個人の問題だが、国や市もある程度は支援をすべきだ
4. わからない

問22-1 あなたが考える理想的な子どもの数は何人ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 |
| 4. 4人 | 5. 5人以上 | 6. 0人 |

問22-2 あなたは、全部で何人のお子さんを持つおつもりですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 |
| 4. 4人 | 5. 5人以上 | 6. 0人 |

問22-3 問22-2「持つつもりの子どもの数」が、問22-1「理想とする子どもの数」より少ない方に○をつけた方にかがいます。あなたが考える持つつもりの子どもの数が、理想とする子どもの数より少ないのはどうしてですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

- | |
|---------------------------|
| 1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから |
| 2. 年齢上の理由から |
| 3. 育児の心理的、肉体的負担が大きいから |
| 4. 自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから |
| 5. 家が狭いから |
| 6. ほしいけれどもできないから |
| 7. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから |
| 8. 配偶者が望まないから |
| 9. 子どもがのびのび育つ環境ではないから |
| 10. 配偶者の家事・育児への協力が得られないから |
| 11. 末子が夫の定年退職までに成人してほしいから |
| 12. 健康上の理由から |
| 13. その他 |

問22-4

問22で、「2」または「3」に○をつけた方にかがいます。このように思う理由として考えられる次の項目について、あなたはどのようにお考えですか。それぞれの項目について、あなたの気持ちにもっともあてはまるものを、1～4の中から1つ選んで○をつけてください。

	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない
出産にお金がかかる	1	2	3	4
妊娠・出産は、自分（妻）が体力的に不安だ	1	2	3	4
自分（妻）が高齢で出産することが不安だ	1	2	3	4
現在の医療体制では不安だ	1	2	3	4
体力的に子育てが不安だ	1	2	3	4
子育てや教育にお金がかかる	1	2	3	4
子育ては精神的に負担だ	1	2	3	4
子育てに自信がない	1	2	3	4
保育所などが利用できそうにない	1	2	3	4
子育て家庭への公的な経済的支援が十分でない	1	2	3	4
仕事を続けられない	1	2	3	4
家族が子育てに協力してくれない	1	2	3	4
他に世話をしなければならぬ家族がいる	1	2	3	4
職場で、育児に伴う休暇制度等が利用できない	1	2	3	4
職場が子育てに協力的でない	1	2	3	4
雇用が不安定である	1	2	3	4
収入が少ない	1	2	3	4
自由な時間がなくなる	1	2	3	4
今の生活パターンを変えたくない	1	2	3	4
子どもを生み育てる意味を見出せない	1	2	3	4
子どもが好きではない	1	2	3	4

6. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についておうかがいします。

問23 あなたは、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」という言葉を知っていますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない
3. 言葉も内容も知らない

問24 あなた自身は「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」がとれていると思いますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

＊ ＊ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）とは ＊ ＊

1人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活においても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。

1. 調和がとれている
2. どちらかという調和がとれている
3. どちらかという調和がとれていない
4. 調和がとれていない
5. わからない

7. 自由記載欄

問25 あなたが、日ごろ、仕事や結婚、子育てなどについて感じていることがあれば、自由にお書きください。

以上で、すべての質問を終了しました。
お忙しいところ、調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

